

浅海域の生態系（3）：大阪湾の藻場生態系

2025年度も2024年度に引き続き、浅海域の物質循環について改めて見直す機会としています。2025年度第1回RACESセミナーでは、藻類の専門家であり、大阪湾の藻場とその生態系に詳しい神戸大学川井浩史特命教授をお招きして、大阪湾の藻場について学び直す機会としたいと思います。またそれに先立ち、大阪公立大学遠藤准教授から、環境研究総合推進費S-23-3で整理されている大阪湾奥部の護岸の状況について報告していただきます、気軽にご質問いただける機会ですので、興味・関心をお持ちの方は、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

- テーマ 浅海域の生態系（2）：大阪湾の藻場生態系
- 主催 一般社団法人 生態系工学研究会（RACES）
環境研究総合推進費戦略プロジェクトS-23-3
- 日時 2025年6月21日（土）15:00～16:50
- 場所 大阪公立大学 I-siteなんば 2F C3
(大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号南海なんば第1ビル2階)
Zoomによるオンラインのハイブリッド形式
- 申込 下記の登録フォームにてお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/wAjBQWZTDx>
- お問合せ 生態系工学研究会事務局 e-mail: office@races.jp
- プログラム



15:00～15:05 趣旨説明

15:05～15:20 S-23-3 報告「大阪湾奥部における護岸の設置状況」

遠藤 徹（大阪公立大学大学院工学研究科 准教授）

【報告要旨】本日話題提供の川井先生の話題に合わせて、大阪湾奥部の護岸の設置状況の整理結果について報告する。

15:20～16:30 講演「大阪湾の藻場生態系：現況と課題」

川井 浩史様（神戸大学内海域環境教育研究センター・特命教授）

【講演要旨】沿岸域の生物多様性、漁業資源の再生産に大きな役割をはたす藻場生態系と、それを構成する海藻類の生物学的な特性と機能について概観する。また、大阪湾周辺における藻場の現況、演者が関係して実施した生態系モニタリングや藻場創出のための取り組みの概要と課題について紹介する。

16:30～16:50 ディスカッション



I-siteなんば 会場案内

- ・南海電鉄ご利用の場合
 - 南海本線 「なんば」駅 中央出口下車南へ約800m、徒歩約12分
 - 南海高野線 「今宮戎」駅 下車北へ約420m 徒歩約6分
- ・大阪メトロご利用の場合
 - 御堂筋線 「なんば」駅 5号出口下車南へ1000m、徒歩約15分
 - 御堂筋線・四つ橋線 「大国町」駅 1番出口下車東へ約450m、徒歩約7分
- 堺筋線 「恵美須町」駅 1-B出口下車西へ約450m、徒歩約7分
(ご注意)

建物北側の大学専用入口からお入りください。本施設には、駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

URL : <https://www.omu.ac.jp/isite/access/>